

る！」という感覚が出るかもしれないね。今後に期待したいです。

### 歯の治療のやり直し

とつても残念ですが、せつかく大英断で行った歯の治療後、再び調子悪くなる可能性があります。もちろん一概に前の治療が悪かったとは言えないのですが、本当に残念です。

例えば、歯の神経の処置をして冠を入れたのにも関わらず、また根の周りに炎症が起きてしまい、冠をもう一度外さなければならぬというケースがあります。機械のようなものであれば、一度ふたを外して中を修理し、再びふたをつけるということも可能かもしれませんが、歯の場合、冠やその下の土台の金属

を削り取らなくてはならないのです。これは歯に大きなダメージを与えます。歯にひびが入ったり、穴が開いたり。ひどいときには抜歯



になつてしまふケースもあるのです。そう考えると、たとえ炎症があつたとしても、冠を除去するときにかかる危険を考え「何もしない」という選択肢もありうるのです。治療の必要性と冠を外すときの危険性を天秤にかけ、その歯を長く保存するためにはどうするかを考えなくてはなりません。

私たちの責任は、いかに再処置が必要のない状態に出来るかということです。根の処置など、時間がかかるケースもありますが、皆さんもご協

力くださいね。

### 遠近両用

老眼が進んでしまい、ついにメガネを作ることを決意しました。いわゆる遠近両用。「これでまた見やすくなる」と期待をしていたのですが：案外難しいものです。

以前から使っていたメガネであれば、細かいものを見るときは目を離していけばよかったです。今回のものは、ガラスの下の方で見なくてはならず、顔を上にあげるようにしないとならないのです。皆さんもきつと苦労されているんですね。結局メガネを外すのが一番見えるんですけど！